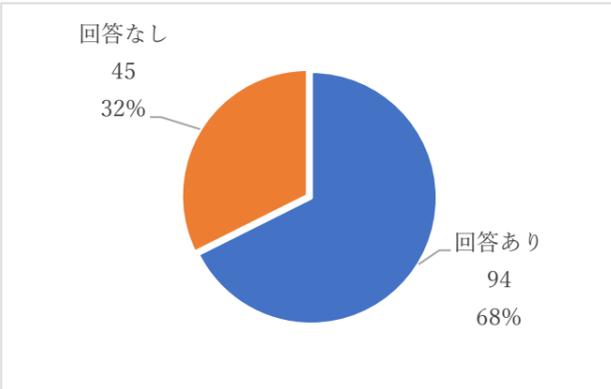


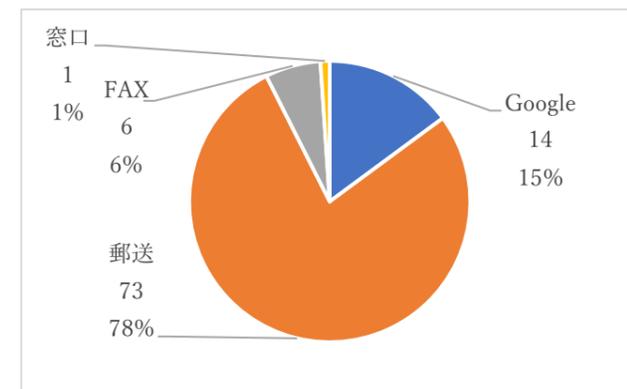
自治会加入促進の取組に関するアンケートの調査結果

対象団体：東区管内町内自治会（139 団体）  
 調査時期：令和 3 年 12 月 15 日～令和 4 年 1 月 7 日  
 調査方法：アンケート用紙による調査  
 回答数：94 件(139 件中) 回答率：68%

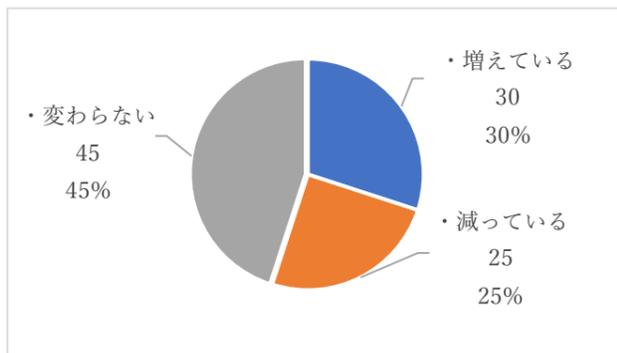
【回答数】



【回答方法内訳】

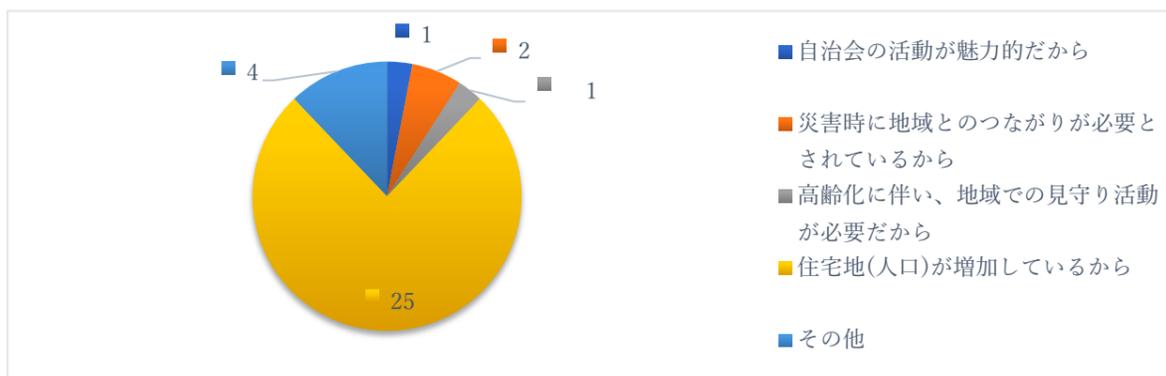


【問 1】ここ数年、貴自治会の加入者数に変化はありますか。

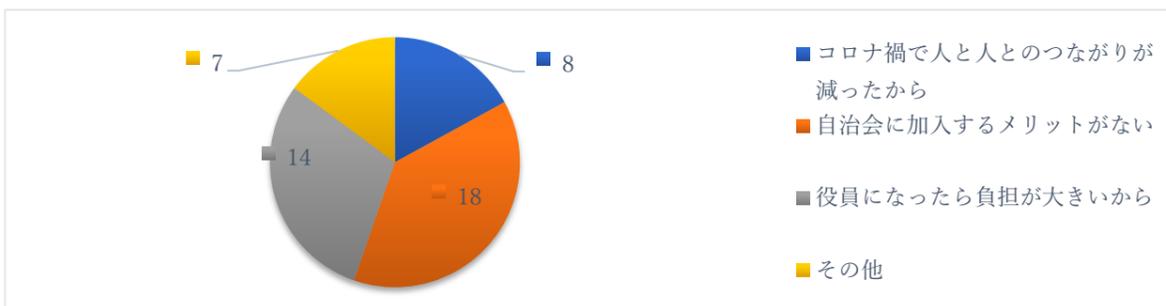


町内自治会の加入数の推移について、「増えている」と答えた自治会は 30 町内、「減っている」と答えた自治会は 25 町内、「変わらない」と答えた自治会は 45 町内でした。増えている理由としては、「住宅地の増加」が 7 割超と一番多く、減っている理由としては「メリットがない」や「役員になったら負担が大きい」が約 7 割を占めました。

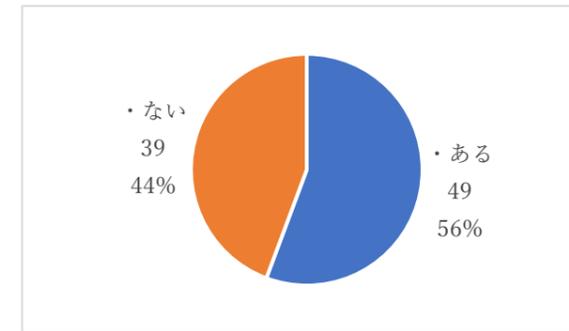
(増えている理由)



(減っている理由)



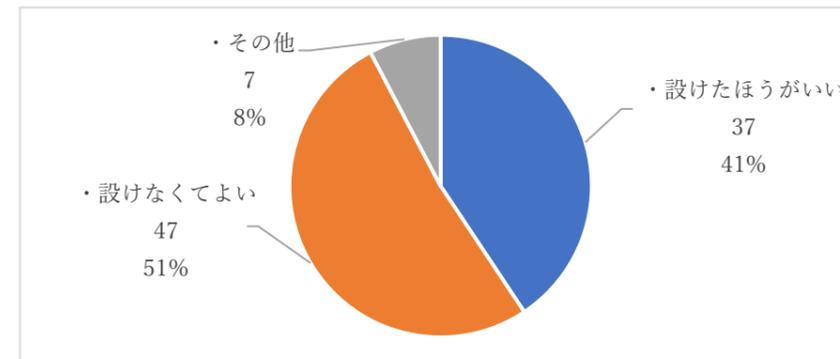
【問 2】自治会加入促進のため、貴自治会独自で取り組まれていることはありますか。



主な取り組み（一部紹介）

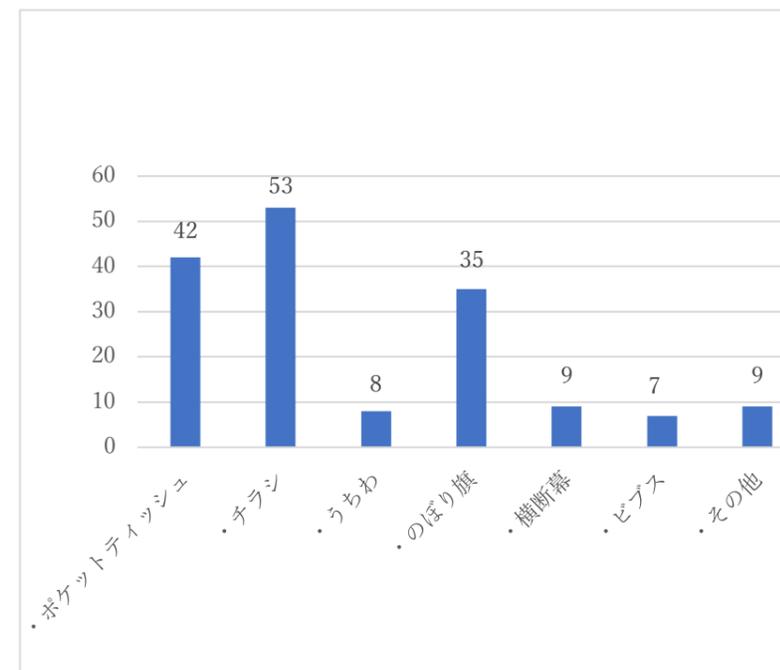
- 会長又は隣保班長で転入者宅を訪問している。
- 広報紙の発行や掲示板や回覧板を通して自治会の活動の情報発信をしている。
- 町内で交流の場を設け、顔見知りになってもらう。
- 自治会の活動について理解を得るために美化活動等自治会活動を積極的に行う。
- グループラインの作成、ホームページの作成

【問 3】東区では、自治会と共同で自治会加入促進を図るための取組として「自治会加入強化月間」の設定を検討しています。そのことについて御意見を伺います。



「自治会加入強化月間」については、「設けなくてよい」という意見が多くありました。「その他」の意見として、「加入に向かない人もいるのでは?」、「加入は任意であり強制ではないので強く言えない。」という意見がありました。

【問 4】問 3 の取組の一つとして地域で活用できる物品の作製を検討しています。使用したい物品の番号に ○をお願いいたします。



各自治会で使用したい物品の上位としては、「チラシ」53 票、「ポケットティッシュ」42 票、「のぼり旗」35 票となりました。傾向としては、個別で配布できるものがあってほしいという意見が多くありました。個別配布と併せて、「のぼり旗」のように全体でアピールできるものも必要だという意見も多くありました。一方、「刺激が強いと逆効果」「物やチラシで入会者が増えるとは思えない。」といった意見もありました。

## 【問5】自治会加入に関して困っていることや区役所への要望について

### メリット・デメリットについて

- 自治会のメリット・デメリットを整理してアピールしてみてもどうか。実施済であれば、個人の自由意志であり、あまり期待できないと思料します。
- 自治会のメリットがなんなのかを打ち出すことが大事。
- 自治会加入の要請チラシを配布する段階でインパクトのあるメリット（加入者と未加入者との違い）の説明に苦慮している。
- ごみステーションの管理運営。町内加入の班長を中心に当番制で清掃を行っているが、当然未加入世帯からも出されており不公平感がある。

⇒メリット、デメリットを打ち出したほうが良いという意見が多くありました。地域によって年齢層や環境も異なりますので、なかなか一概には言えませんが、自治会の最大の魅力は人と人のつながりです。特に有事の際は地域とのつながりが必要不可欠ですので、日頃から地域との関係性を築いていくことがメリットになると考えます。

また、自治会の皆様の活動により地域の防犯灯やごみステーションが綺麗に維持管理されていて住みやすい環境を作っている、ということをご区役所からも発信していき理解を得られるよう努めて参ります。

### 区役所からの働きかけに関して

- 任意ということで断られることがある。区役所も自治会加入について推進をお願いします。
- 市営住宅なので熊本市からの働きかけはできないか。
- 転入届の窓口で①町内名と町内会長の連絡先を記した版物を手渡す②宅地取引業者のお願いと指導③ごみ置き場の使用意図をしっかりと理解してもらう。
- 転入者受付の際に、自治会加入を働きかける中で、それぞれの町内情報などをあらかじめ入力しておき、当該町内資料を提供するなどの取組をお願いしたい。
- もっと自治体での自治会活動の宣伝をお願いしたいと思います。

⇒区役所では、転入者の受付を行う区民課窓口において、自治会加入の案内をお渡ししております。また、自治会入会の問い合わせがあった際には、対象自治会の自治会長をご紹介しスムーズに加入につながるような取組をしております。

今回のアンケートで「問3 加入強化月間の設定」についてご意見を伺ったところ、設けたほうが良いという意見は4割ほどでした。しかし、区役所からも自治会加入に対する働きかけをしてほしいという要望が多くあったことから、区役所からできる取組について検討いたしました。詳しくは別紙「自治会加入促進アンケートの結果送付および自治会加入促進啓発グッズに関する調査について」をご確認ください。

### その他

- 自治会に関心のない世帯の自治会加入は、加入後も地域活動への参加は期待できない。勧誘は一定の理解のある世帯に絞って行う。無理やり加入させてもトラブルになる。
- マンションやアパートは不動産業者より会費相当を入金していただいているが、入居者は自治会活動には無関心。会費入金があるのでごみカレンダー等は自治会として配布している。
- ごみステーションの維持管理は永遠の課題のように感じていますが、何かいい案がないものか考察中です。
- 一戸建て住宅を新築して転入した家族は共働きが多く、自治会活動や班長はできないので、入会しない若い夫婦が少しずつ出てきている。ごみステーションの掃除当番や班長の業務もかなり簡素化し毎月の隣保班長会議も短時間で終わるように工夫している。
- 新築の家が多くなり、年配の方は割合自治会に加入してくれますが若い方のほうは興味がなしかが多い。興味を持つためのアイデア等がありましたら教えてください。
- 自治会加入も必要ですが、子供会の加入促進もぜひ検討してほしい。運動会などでテントを設置する人が足りません。
- 常時住民に示せる回覧書式を作ってほしい。住民の皆さんは、ご夫婦とも仕事があるため参加に厳しいこともあり、それを克服する内容を作って欲しい。
- 転出は会費の返金が伴うので転出者からの申し入れがあるので把握できますが、アパートなどの場合転入者の把握が難しい。
- 2校区の緩衝地域になっていることが、自治会加入を難しくしている。
- 自治会加入よりも自治会そのものの存続が危ぶまれる。役員のみ手がないためである。
- 各地区の情報交換(提供) データベースの公開、査察等が必要と思われます。貴重な税金が払われているのですから。
- まちづくりセンターの職員がコロナ禍ということで減少しましたが、一刻も早く元通りにしてください。せっかくまちづくりセンターが地域に浸透していましたので残念でなりません。
- コロナで目立った勧誘ができていない。
- 給料制度をしてみる。
- 自治会活動の在り方について見直したほうが良いのではないかと。マンツーマンによる意見交換の場を設けてほしい。

⇒様々なご意見をいただき大変ありがとうございました。

多くの自治会で、工夫をしながら自治会加入を進めておられること、また、コロナ禍において活動範囲が限られる中、新たな自治会活動に取り組んでいただいておりますことにご大変感謝申し上げます。

今回、区役所への要望として挙げた内容については真摯に受け止め、改善できる内容については今後検討して参ります。

今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

※回答いただいた内容は紙面の都合上、一部抜粋しております。